

新年のあいさつ



和水町長 高巢 泰廣

明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、ご健勝にて、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

また、平素より、町政に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。昨年を振り返りますと、5月1日に新天皇が即位され、平成から令和へと、新時代が幕を開けました。この「令和」には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められております。令和の時代が、更に平和で希望に満ち溢れた時代となりますことを切に願うところでございます。

平成31年を迎えた新年早々には、和水町を震源とする最大震度6弱の地震が発生しました。人命にかかわる大きな被害がなかったことは幸いでしたが、多くの皆さまが不安な日々を送られたことと思います。改めて、町の防災力向上に努め、町民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりの重要性を再認識いたしました。

また、秋雨前線の停滞により発生した九州北部豪雨や日本各地で甚大な被害をもたらした台風などにより、多くの尊い命が失われ、住宅や道路環境、通信網に多大な被害が発生し、人々の生活環境が大きく損なわれました。犠牲となられました方々のご冥福をお祈り申し上げます。



和水町議会 議長 蒲池 恭一

明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年が、平穏で実りある一年になりますことをご祈念申し上げます。

日頃より町議会に対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。年頭にあたり、町議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、5月1日に新天皇が即位され、平成の時代が終わり、「令和」という新しい時代の幕が開けました。11月には、天皇陛下の即位を披露するパレード「祝賀御列の儀」が行われ、たくさんの方々から歓声を上げ、祝福の言葉が掛けられました。この時代が永く平和な時代であることを心より願っております。

東日本で猛威を振るった観測史上最強クラスの台風15号、そして19号により、多くの尊い人命が失われ、生活基盤に甚大な被害をもたらしました。今も復旧の最中にある方々が、一刻も早く日常の生活に戻れますことを心より願います。

また、本町においては、年明け早々、和水を震源とする震度6弱の地震が発生し、平成28年の熊本地震を思い起こさせ、人々は不安に駆られました。

一方、明るいニュースもありました。本町（中林地区）出身である日本マラソンの父、箱根駅伝の創設者「金栗四三」氏を主人公としたNHK大河ドラマ「いだてん」の放映が1



和水町病院事業管理者 志垣 信行

明けましておめでとうございます。町民の皆さまも健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

ここ数年は毎年のように大きな災害が発生し、昨年も関東から東北にかけて大水害に見舞われ、復興もなかなか進まず、今も多くの方が苦しんでいます。昨年正月にはまさかの和水町を震源とする震度6弱の大地震が発生していますので、災害というのは何時どこで起きるか判らない事を肝に銘じ、普段から準備が必要であることを痛感させられました。

またラグビーワールドカップでは日本チームの活躍に心踊らされました。以前日本人は体が小さく、体の大きな外国チームには全く歯が立たなかったのですが、今は外国人とほぼ同じ体格になり、マイケル・リーチ選手のように帰化した外国人も加わったとはいえ、予選を全勝で通過したのは驚きました。更には日本でのおもてなしが好評で日本文化の良いところが世界に伝わり、また日本選手のとてつもない努力とラグビーに対してのひたむきな心が伺え、とても感動しました。

さて医療界では数年前から地域医療構想という地域医療の再編計画が進行しています。ここ有明地区でも地域の中核となる病院が皆似たような医療を提供するのではなく、機能分担を行い、人材や医療機器を有効に活用して地域完結型の医療を行うのが目的です。有明地区では玉名中

減少している状況であります。人口減少対策として、移住定住促進事業、道路整備事業などを推進していくとともに、和水町を多くの方に知っていただけるようPRを継続して推進してまいります。

教育環境の面では、昨年4月から、町内保育園などで、英語教育を開始しました。この取り組みは、私の重点施策の1つであり、幼児期から英語に触れることで国際化にも対応できる人材の育成を目的としてスタートしましたが、子どもたちや保護者の皆さまから好評だと聞いており、大変嬉しく思っております。

また、今年4月から、菊水地区の4つの小学校を統合し、町内の学校は、小学校2校、中学校2校となります。今後の学校跡地の利活用については、協議・検討を重ね、よりよい活用方法を見出していきたいと思っております。

結びに、町民の皆さまが今年も健康で元気に過ごされることを祈念して、新年のごあいさつとさせていただきます。